

中国北西部に位置する寧夏高原の寧夏回族自治区の同心県城関郷小山村、固原県七榮鎮北咀村及び海原県高台郷白川村の生活経済状態を1997年時と2005年時を比較して、この間の変化を比較し検討した。これら三村は寧夏高原にあって、降水量も少なく、水利施設等も十分整備されてはいなく農林業にとっては条件不利地域である。したがって生活水準の低いと見られてきた。三村の生活経済を1) 家庭の収入水準と収入構造、2) 家庭の消費水準と消費構造から分析し、寧夏山区生活経済水準の向上への課題を見出したい。

#### 1) 家庭の収入水準と収入構造

三村の世帯の収入水準(1997年)を見ると(表1)、白川村4,462元、北咀村12,215元、小山村23,724元である。これと寧夏都市住民の生活費収入(1996年)と比べてみると、寧夏都市住民の平均収入は10,452元であるが、白川村は都市住民の最低階層と同じである。北咀村は中の上階層(12,261元)、また小山村は最高収入階層(21,745元)より多い。

収入構造を、農林業収入、兼業収入、その他(仕送り、年金、生活扶助、その他)で見ると、白川村はそれぞれ2,025元(45.4%)、2,258元(50.6%)、178元(4%)(1997年)から4,201元(49.7%)、3,080元(36.4%)、1,174元(13.9%)(2005年)と変化している。白川村は農業収入が倍近くに増えており、構成比も4.3ポイント増加している。農業基盤がこの間整備されたからであろうか。また兼業収入も増加している。そしてその他の収入が10%近く増えている。総額では1997年から2005年にかけて倍近くに増えており、寧夏都市住民の生活費の平均へ近づいている。

北咀村は合計で12,215元、収入構成はそれぞれ5,815元(48%)、5,581元(46%)、819元(6%)(1997年)から2005年には合計10,041元、でそれぞれ2,450元(23.4%)、6,715元(64.2%)、1,288元(12.3%)と農業収入が大幅に減り兼業収入と仕送りが増えている。

小山村は合計12,806元、それぞれ9,325元(39.3%)、12,268元(52%)、2,131元(9.0%)から合計12,241元、それぞれ6,700元(37.5%)、9,798元(54.9%)、1,350元(7.6%)となっている。小山村も農業収入が減り、兼業収入を増やすことで、ほぼ同じ程度の収入を維持している。

これらのことから、高度高原の奥にあり、交通の便の悪い白川村は、1997年の調査時の兼業はトラック運送がほぼ全てであったが、兼業収入の構成比は14ポイント減少しており兼業収入を得にくいようである。また、小山村は、果樹園の被害があったようで、農業収入を大きく減少させ、一層兼業収入に割合を高めている。そこには中心地に近いという地理的条件の下で、商工業、郷鎮企業等の兼業先を得やすいからであろう。

#### 2) 消費水準と消費構造

三村の消費支出の平均額は、1997年が9,218元であったが2005年には8,720元と500円ほど低下した。しかし白川村は3,278元から6,399元へと倍近くに増加している。北咀村と小山村は若干減少が見られる。これらの消費支出水準を寧夏都市住民の家計主出(1997年)および北京市住民の家計と比較してみると(表3)、三村に平均は寧夏都市住民の平均の9,694元より476元少なく、北京市農民の8,463元より756元多い。都市住民と比べると4,194元少ない。このように三村の中でも白川村は収入の増加のもとで消費支出も大き

く増大した。そして三村の平均で見ると、北京市の農民よりは消費水準は高いが、寧夏及び北京の都市住民よりは低く、特に北京市都市住民との格差はきわめて大きい。このように地方格差が消費水準の格差にも現れている。

## (2) 消費構造

三村の消費構造を見ると、エンゲル係数は平均では 40.7% (1997 年) から 42.9% (2005 年) へ 2.2 ポイント大きくなっている。村別に見ると白川村は 40.0% から 40.7% と 0.7 ポイント上昇している。白川村の場合、消費支出がこの間に倍近くの額に増加し食料費も倍近くになっているが、エンゲル係数はほぼ同じということは、1997 年次にはすでに指摘したように寧夏都市住民の最低階層に近いという貧困の中で、エンゲル法則の逆転にも近い形での食料費の削減（質的にも）が行われていたのが、2005 年には所得の増加の元で、質的にも食料費支出の増加を伴った結果かもしれない。北咀村は 52.0% から 47.0% へと 5 ポイント減少しているが、この間消費支出が 450 元ほど増加しており、消費水準は向上してきたと思われる。小山村は 30.3% から 41.2% へと 9.9 ポイント上昇した。おそらく小山村の場合はすでに見たように農業所得の減少が大きく、消費支出額も 500 元ほど減少した中でエンゲル係数の増加は、消費水準の低下を表した結果であろう。

ところで消費支出費目の中で注目されるのは、教育費と医療費支出である。教育費支出を見ると (1997 年) 小山村は 22% (2,789 元) と他の 2 村が 8~% に対し非常に大きな支出構成比である。これはおそらく小山村は同心県の中心部に近く小中高校への進学率が高いのではないと思われる。また大学への進学率も高いのではないだろうか。大学の授業料は年間 4500 元であり、三村の年間収入の平均額の 1 年分に相当する。したがって大学への進学を可能に出来るのは、豪農といわれる富農か兼業（例えば自営業）収入の大きい世帯か、借入金によらざるを得ないであろう。例えば小山村らの A さんの世帯を事例としてみると (表 3) である。

この A さんのように大学生と高校生を抱えている家庭の教育費負担はきわめて大きい。A さんの収入は 20,053 元と三村の平均収入額 4,275 元の 5 倍近いから進学可能ともいえるのである。したがって、高等教育を受けさせて職業能力を向上させることで、いわゆる貧困の世代的連鎖をとめるためにも多くの国民が、高等教育を受けることが出来る修学への経済的支援システムを拡充させることが急務ではなかろうか。

また、A さんの家計支出を見ると保健医療費が 20,140 元であり、支出構成比は 43.2% を占めている。1997 年の三村の消費支出に占める保健医療費の平均は 9% であるが、中国の医療保障制度が十分機能していない現状では、個々の家庭の疾病時の保健医療費支出は大きな負担になっている。中国では「病気になれば、貧困へ落ちる。」ともいわれているようであるが、医療保障制度の充実は急務となっており、その立ち遅れが指摘されている。すなわち、農村部での新型農村合作医療は、農民一人当たり 10 元を収め、地方政府 20 元で合作医療基金として運用、しかし農村地域では財政面から行政側が合作医療制度に積極的でないと指摘されているところであるが 2003 年から実施された。かつて合作医療制度は 1950 年代から多くの農村で実施され、普及した。(モデル県—紹興県—では農民の 90% が加入、しかし 2004 年の 9 月労働社会保障部の発表では、9,500 万人の農民が加入しているに過ぎない。医療保険に加入する農民は、1970 年代末には 9 割以上が加入していたが、1998 年には 10% 以下となった。

自費の治療代は個人健康保険支出の 80%を占めており、家計に重くのしかかっている。1998 年には経済的理由で診察を受けられない患者は 65%以上であり、貧困地区ではもっと高い比率であると思われる。(図 1)

したがって、農村の労働力の日々の維持と世代的再生産を支える生活経済にとって、医療保障と公衆衛生の改善は、寧夏地区を含めて中国の農村にとって不可欠の改善課題といえるであろう。

### 3) 今後の課題

#### 1) 農業生産基盤の整備

- ・白川村の農業生産収入の増大は、水利基盤等の農業基盤整備の結果か？
- ・小山村の果樹栽培等は何故減少したか？風水害か日照条件か？ハウス等施設の不備か？

#### 2) 郷鎮企業を含めた商工業の近代的生産の発展と地域産品の特産化、付加価値付与などによる兼業形態の創出と発展。

#### 3) 交通網の整備―兼業化

#### 4) 教育水準の向上への修学機会と経済的支援策の拡充

#### 5) 医療保障と公衆衛生の発展

以上

表 3 A 家族の家計（小山村）（元）

|        |           |
|--------|-----------|
| 農業収入   | 8,910     |
| 兼業収入   | 10,900    |
| その他    | 243       |
| 合計     | 20,053    |
| 家計費計   | 20,140    |
| 食料費    | 700       |
| 保健衛生費  | 8,700（事故） |
| 教育費    | 8,400     |
| 交通費    | 300       |
| 衣料日用品費 | 300       |
| 臨時経費   | 260       |
| その他    | 1,480     |
| 預貯金    | 0         |
| 借入金残高  | 6.000     |

世帯主：51歳 小卒

妻：50歳 小卒

長男：26歳 大卒

長女：22歳 大学生

次女：20歳 中卒

三女：16歳 高校生